

ごあいさつ



山陽特殊製鋼グループは、「信頼の経営」を経営理念としています。この経営理念のもと、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力のさらなる強化とともに、地球環境対策の確実な実行や企業倫理の徹底など、社会を構成する一員として求められる責任を果たすことにより経済性と社会性の両立を図ります。これらの取り組みを通じて企業価値を高め、株主の皆様、需要家、従業員、社会など、全てのステークホルダーからの一層の信頼を得られる企業を目指しています。

事業経営の大前提「安全と健康」

企業は人によって成り立っており、心身の健全な従業員・グループ会社員・協力会社員によって、はじめて健全な事業経営が行われます。

当社は2010年12月、労働災害の危険を疑似体験できる「安全体感研修センター」を設置しました。当センター

は、災害が発生し得る状況の疑似体験を繰り返し行うことで、「危ない」という危険感受性を高め、安全意識を高めることを目的としています。

「安全と健康」は事業経営の大前提であることを認識し、ゼロ災害と心身の健康に取り組んでまいります。

一人ひとりの行動が鍵を握る「社会との共生」

企業は社会的な存在であり、企業は事業経営をしている限り利益を上げなければなりません。それと同時に、社会を構成する一員としての責任を果たしていかなければなりません。この前提として、従業員一人ひとりが、法令順守はもちろん、社会のルールや倫理観に沿って行動していくことが必要です。山陽特殊製鋼グループでは、こうした「社会との共生」を意識し、さらには自分の仕事・行動を通して、社会に貢献していくという思いで、業務に取り組んでいます。

第8次中期経営計画(2011年度～2013年度)

■経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大

- ◇ 技術先進性の拡大 せん せん 先の先へ
- ◇ 国際競争力の更なる強化
- ◇ 当社各部門(営業・技術・生産)及びグループ会社の更なる連携強化による総合力の向上

新興国経済の勃興による世界経済の多極化や低炭素化社会の進展による需要構造の変化等を危機と同時にチャンスとも捉え、非価格競争力をより一層高め、その上でコスト競争力の強化も同時に図ることにより、国際競争力のある企業体質の確立を目指す。

これをもって、将来の利益成長への確かな道筋をつける。また、事業基盤をより強固なものとするための諸施策や、健全な財務体質を維持した上での成長戦略の推進は従来通り実施する。